

# きょうさいだより

佐世保共済病院写真コンテスト作品  
優秀賞 金子善憲氏【春らんまん】

## 理念

博愛の精神  
人の和  
自己研鑽

## 目標

1. 私達は、地域のみなさんのニーズに応え、信頼してもらえる医療をめざします。
2. 私達は、他の医療機関と共に、地域のみなさんの診療と健康増進に努めます。
3. 私達は、新しい医学、医療の知識と情報を取り入れ、常に自己啓発に努めます。
4. 私達は、それぞれが自己の責任を自覚し、安全な診療をめざします。
5. 私達は、病める人の苦しみや喜びを分かち合う心をもって診療に努めます。

## INDEX

- 日露戦争開戦から100年目にあたり／ペインクリニックのご紹介 ..... p.1
- 高気圧酸素療法開始のご案内／5階北病棟紹介 ..... p.2
- 診療活動の現況～歯科・口腔外科～ ..... p.3
- 肝臓病教室のご案内／職場紹介－ケンセイ社－ ..... p.5
- 芋川千秋 海軍軍医少将／Topics／編集後記 ..... p.6
- 外来診療担当表 ..... p.7



ごあいさつ



## 「日露戦争開戦から100年目にあたり」

院長 福井 仁士



本年は日露戦争開戦から100年目に当たります。佐世保市には、日露戦争の記念物として早岐の日露戦役先発隊乗船地の碑があります(写真)。この碑には、まったく説明が書いてありません。場所は早岐観潮橋から約1kmほど佐世保よりの早岐瀬戸にあります。なぜこのような辺鄙なところから兵士が乗船したのでしょうか。この碑について調べてみました。

まず、司馬遼太郎の「坂上の雲」の中に記載があります。日本連合艦隊のほとんどが佐世保港から出港したのは、明治37年(1904年)2月6日午前中でした。午後になって後発の海軍の瓜生船隊が出港しましたが、この船団とともに陸軍の兵士を乗せた3隻の輸送船が走っているのを見て水兵達が驚いたとのこと。この記載を見て、私は陸軍兵士が早岐瀬戸の現在碑のある場所から乗船したのであらうと思いました。

その後、平成6年に刊行された早岐郷土史概説(早岐郷土史編集委員会)を見る機会があり、私の推測が正しかったことを知りました。出兵したのは歩兵24旅団(小倉・福岡・大村から集めた4個大隊)であり、碑は早岐在郷軍人会により建てられました。第2次大戦後に一時壊され、戦後また建て直されたとのこと。さらに、させば歴史散歩(平成6年出版、芸文堂)の記載を見ると、早岐にひそかに終結した陸軍兵士は、出港の前日の夜早岐瀬戸から団平船で佐世保港の輸送船に運ばれ征途についたとのこと。日本がロシアに対して宣戦布告したのは2月10日です。それまで、陸軍の動静はできるだけ内密にしておきたかったと思われま。

この碑は、日本の歴史の一端を伝える記念物として残っています。日露戦争は日本と佐世保の歴史を大きく変えました。開戦から100年目の現在、当時に思いを馳せて見て下さい。



## ペインクリニックのご紹介

麻酔科 北條 美能留



ブロック療法中の 北條 美能留 医師

麻酔科外来(ペインクリニック外来)では、主に神経ブロック療法を応用して各種疼痛疾患の治療を行っています。神経ブロック療法の適応疾患は幅広く、癌性疼痛などの慢性侵害性疼痛、帯状疱疹後神経痛などの神経因性疼痛など痛みを引き起こすすべての疾患が対象となります。主なものとして交感神経ブロック、神経根ブロック、硬膜外ブロックなどがあり、疾患によって神経破壊薬、高周波熱凝固などの治療を行っています。また痛みの原因を調べるため診断的神経ブロック、DCT(drug challenge test)なども施行し、疼痛機序にあった治療を行えるようになってきました。今後は緩和医療の

方面も積極的に取り組んでいき、地域医療に貢献できるよう努力していきたいと思っています。

## 高気圧酸素療法開始のご案内

内科 原口 総一郎

平成16年1月より、当院でも高気圧酸素療法を開始しました。

高気圧酸素療法とは、人工的に造られた高い気圧環境の中で純酸素を投与することによって、生体内の各種の低酸素障害を改善する治療法です。

適応疾患でよく知られているのは、火事の際の一酸化炭素中毒や、潜水病などです。臨床でよく活用される疾患は脳梗塞で、小さな梗塞の場合は1・2回の治療で神経症状の改善が得られることも多くあります。その他、腸閉塞、閉塞性動脈硬化症、糖尿病性壊疽、褥瘡、熱傷への効果もよく知られています。感染症では、敗血症、感染性心膜炎、壊死性筋炎(筋膜炎)、骨髄炎、MRSA感染症などに広い適応があります。また突発性難聴や網膜動脈閉塞症などにも応用されており、今後は偏頭痛などの疾患の適応についても検討されております。

治療時間は、前後30分の圧調整時間を含め、1回約一時間半です。急性期疾患では5日間程度、慢性期には週3日から5日程度続けて行います。耳抜きの関係で浸出性中耳炎などの副作用が起こることがありますが、適時に治療を行えば聴力障害を残すことはありません。

今後、安全性に注意しながら適応を拡大して優れた治療効果をあげていきたいと思っています。



治療中の 林 誠 臨床工学技士



高気圧酸素療法装置

## 5階北病棟紹介

5階北病棟師長 久田 和子

5階北病棟は、平成16年1月から6科の混合病棟になりました。それまでは、外科・放射線科・内科の3科混合でしたが、それに皮膚科・歯科・口腔外科・麻酔科が増え6科となり、多様な疾患を持つ患者さんが入院されています。スタッフは看護師16名、看護助手4名で明るくパワフルにチームワーク良く、日々の忙しい業務を乗り越えています。

以前に比べ入退院も激しく、また歯科・口腔外科・皮膚科の手術もあるため、急性期の疾患の患者さんが多くなりました。しかし一方では、終末期に向かう患者さんも対象で幅広い看護が求められます。なにかと騒がしくなりがちな環境ですが、患者さんが安心して療養できる環境作りを心がけ、多様なニーズに対応できるよう毎日カンファレンスを行い、情報交換および看護ケアの継続を目指し日々スタッフ一同頑張っています。



5階北病棟スタッフ(前列右から2番目が久田師長)



**【はじめに】** 前任者の七種先生の退職を承けて平成15年4月から医長として勤務しております。また標榜科名も「歯科」から「歯科・口腔外科」へと変更しました。

昨年までは長崎県北地区において積極的に口腔外科診療を行っている施設はなく、口腔外科的疾患の患者さんは長崎や福岡、佐賀などの大学病院に紹介されていたのが実情でした。当科では平成15年4月から9ヶ月の間に約120の医療機関(歯科医院約100、病院・医院20)から308名のご紹介をいただきました。この数は当初の予想を大きく上回るもので、この地域での口腔外科の必要性を痛感させられるとともに、ご紹介いただきました諸先生方には深く感謝申し上げます。

**【当科の診療内容】** 当科で対応可能な疾患は以下の通りです。

1. 外傷(顎骨・歯牙骨折、軟部損傷など)
2. 外科的処置(親知らずなどの難抜歯、嚢胞、骨移植、補綴前処置など)
3. 炎症(顎骨周囲炎、骨髄炎、上顎洞炎など)
4. 口腔領域の腫瘍
5. 粘膜疾患の診断と治療
6. 基礎疾患を有する患者の歯科治療
7. 異物迷入、誤嚥(インレー、クラウン、リーマーなど)
8. 口腔心身症、舌痛症など

午前中は新患と比較的処置の簡単な再来の診療を行い、抜歯などの外来小手術は午後に行っております。

**【紹介の内訳】** 紹介元を地区別(表1)に見てみますと、佐世保市が70%、北松地区が22%と大部分を占めています。今後は東・西彼杵郡や有田・伊万里地区からのご紹介にも期待しています。遠方の方や仕事などの都合で通院が困難な方も多く、難抜歯の処置は事前に連絡をいただき、初診日に行っています。

紹介患者の疾患別分類(表2)では抜歯依頼が32%と最も多く、次いで炎症、嚢胞の順となっています。その他は10%を占めていますが、その内容は口腔心身症や薬剤アレルギー精査、歯科金属の誤嚥、抜歯後出血などです。また現在は問い合わせの多かったインプラント前のCT 撮影依頼の紹介にも対応できるようになりました。

〈表1〉紹介元の地区別内訳 (平成15年4月~12月)

	歯科医院	医院・病院	計
佐世保市	201	17	218
北松地区	60	8	68
東彼地区	9	1	10
西彼地区	2	0	2
有田・伊万里	2	5	7
その他	3	0	3
計	277	31	308

〈表2〉紹介患者の疾患別分類 (平成15年4月~12月)

抜歯依頼	98	(32%)
炎症	56	(18%)
嚢胞	41	(13%)
良性腫瘍	24	(8%)
粘膜疾患	21	(7%)
顎関節疾患	17	(6%)
抜歯中止	9	(3%)
悪性腫瘍	6	(2%)
骨折	3	(1%)
障害者治療	2	(0.6%)
その他	31	(10%)
計	308	(100%)



手術中の平木昭光医師(上顎骨嚢胞)

**【全身麻酔手術の状況】** 手術室での手術は毎週木曜日の午後枠を使用して行います。外傷など急を要する場合には、麻酔科やスタッフの協力を得て、随時行っています。また手術時には九州大学歯学部顎顔面口腔外科に応援を依頼しています。

平成15年4月から平成16年1月までの手術総数は29例(表3)で、その3分の1は上顎骨(洞)嚢胞の症例でした。顎骨骨折が3例と以外に少なく、今後の取り組みの課題です。

**【障害者歯科治療への取り組み】** 知的発達障害などの問題を抱える障害児・障害者の歯科治療は、これまで県北地区に対応できる施設がなく大きな問題となっていました。当科は、麻酔科や手術室スタッフの協力の下に、紹介元の先生と一緒に全身麻酔下での治療を始めており、これまで既に3例を数えました。

佐世保子ども発達センターの利用者をはじめ、歯科医師会や家族の方々から熱い期待をいただいていることを実感しています。

**【おわりに】** 歯科・口腔外科を開始して1年近くが経過して、診療体制もようやく落ち着いてきた感があります。今後も開業の先生方と役割を分担し、口腔外科的疾患を中心とした病診連携を進めていきたいと考えています。さらに、増加しつつあるご要望に迅速に対応するために、また障害者歯科治療を充実させるためにも、歯科医2名体制の早期実現を目指して一層精進努力いたす所存であります。

**【入院の状況】** 平成15年4月から平成16年1月までの入院患者数は延べ45名でした。全身麻酔手術以外での入院は重度の炎症や広範囲の嚢胞を摘出・開窓を行った症例がほとんどです。また離島や遠方からで、外科処置後の通院が困難な方も数例ありました。

〈表3〉全身麻酔手術の内訳(平成15年4月～平成16年1月)

上顎骨(洞)嚢胞	9
顎骨骨折	3
障害者歯科治療	3
舌小帯強直症	3
悪性腫瘍	2
口唇口蓋裂	2
良性腫瘍	1
顎関節脱臼	1
顎下腺摘出	1
その他	4
計	29

### ●外来診療日

#### 診療案内

月～金曜(8:30～11:30 14:00～17:30)

※木曜の午後は手術のため外来診療はできません。

※新患受付は8:30～11:30です。

なお急患の場合は随時受け付けます。

※口腔外科を主体とした診療体制のため、紹介状をお持ちでない一般歯科の患者さんはお断りする場合があります。



歯科・口腔外科のスタッフ

平成16年1月より2ヶ月に1度(主に奇数月第4金曜日の午後4時30分から午後6時頃まで予定)、外来1階栄養指導室にて肝臓病教室を開催することにいたしました。慢性肝炎、肝硬変、肝臓癌などの慢性肝臓病の患者さんを対象に、肝臓病に関する情報提供を行っていきたいと考えています。実際の日時や次回のテーマは内科外来とホームページに呈示します。当日のテーマ以外にも個々の質問にお答えする時間を設けていますので、ご興味があれば患者さんだけでなく御家族の方も御参加下さい。

参加費は無料ですが、参加申し込みや問い合わせは内科外来の窓口までお願いします。なお参加される方は、当日会場に筆記用具を御持ち下さい。多数の方に御参加頂いて、御自分や御家族の治療のお役に立つ事を期待しています。

肝臓疾患担当医 林田 一洋、福山 邦昭、野口 誠司

## 職場紹介 — ケンセイ社(院内清掃業務) — 主任 吉竹 尊文

### Q どんな職場ですか？

**A** 女性21名、男性1名、総員22名の女性が中心の職場です。男性は私1人なので女性のパワーに負けないよう孤軍奮闘して頑張っています。

### Q 仕事内容は？

**A** 院内の清掃業務を行っています。各外来、病室、廊下、洗面、トイレ、ホールなどの共用部分等々、病院全体の清掃を毎日行っています。

### Q 気をつけていることは？

**A** 常に患者さん、見舞い客、職員の方々がいらっしゃる中での作業になりますので、まずは患者さんの安全を第一に考え、また他の方々の支障にならないように気配りしています。



### Q 仕事上、苦勞していることは？

**A** 床を濡らしての清掃作業が中心となりますので、転倒など患者さんに危険を与えないよう細心の注意を払い作業を行っています。

### Q うれしかったことは？

**A** 共済病院はきれいだ、よく掃除が行き届いていると言われた時です。まだまだ言われる機会は少ないのですが、今後多くの方にそう思っただけのよう日々努力していきたいと思っています。

### Q 最後に一言

**A** 当院へ来院された方々に気持ちよく施設を利用して帰っていただくことが私達の目標です。これからも清掃作業を通して患者さんをはじめ当院に来院される皆様に貢献していきたいと思ひます。



ケンセイ社スタッフ(後列右から3番目が吉竹主任)

(インタビュー／編集委員：森 博紀)

かつて海軍病院であった国立舞鶴病院の門前には与保呂川が流れており、訪れる人たちが渡る橋の名を「三安橋」というそうです。その石造りの橋の橋柱には「この橋を 渡らん人の身安かれ 心安かれ 家も安かれ」という歌が刻まれていて、橋の名の由来となりました。

その歌の作者が芋川千秋、海軍軍医少将なのです。戦前の当院を知る人ならこの名前に聞き覚えがあるかもしれません。昭和9年から11年まで佐世保海軍共済病院の院長でした。そして当院の「看護婦養成所の歌」の作詞者でもあります。「いくさ船 いでいるほとり 佐保川の流れにのぞみ…」と続く優美な歌は今も卒業生の皆さんに歌い継がれています。(作曲は佐世保鎮守府海軍軍楽隊)

図書館に行って海軍将官の履歴を調べてみると、芋川さんは山形県米沢市の出身。大正元年に海軍軍医になり、以来佐世保には5回の勤務の機会があったようです。連合艦隊軍医長などの要職を勤めておられますが、舞鶴病院長を最後に昭和16年12月に待命。このとき50歳です。太平洋戦争勃発の時というのにこの若さで引退とは、どうも「三安橋」のような日ごろの平和主義的言動がニラまれたのではなからうかと、いらぬ詮索をしたくなります。

スマートでちょっとシャイな眼差しの軍服姿の写真が当院に残っています。



芋川千秋第14代院長

Topics

食堂メニューに「院長ピラフ」が新登場!!

本館1階にある食堂に新メニューが登場しました。その名も「院長ピラフ～ババリア風～」!!

ババリアとは、ミュンヘンを中心とした南ドイツ地方のことです。このピラフは福井院長が考案したもので、うす切りしたジャガイモのシャキシャキ感がアクセントとなった人気の一品です。スープとミニサラダ付きで500円。ぜひ、ご賞味ください。

(編集委員：谷口 友佳子)

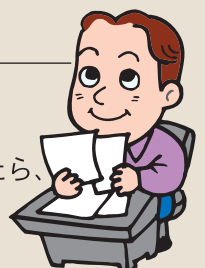


院長ピラフ～ババリア風～ ¥500 (スープ・ミニサラダ付)

編集後記

- 本号では歯科・口腔外科の新任医長・平木昭光先生の八面六臂の活躍ぶりが大変印象的でした。誠に頼もしい限りです。
- 芋川千秋・院長の床しいお人柄がしのばれて興味をひかれます。往時をご存知の方がおられましたら、教えて頂ければ幸いです。

編集委員長 萩原 博嗣



科	役職	医師名	月		火		水		木		金		備考(専門分野・特徴など)	
			午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後		
内科	部長	林田一洋			●						●		肝臓・消化器疾患	
	医長	福山邦昭	●				●		●				肝臓・胆嚢・膵臓疾患	
	〃	佐藤浩信			●						●		消化器疾患・膠原病	
	〃	金子武生	●				●				●		循環器疾患	
	〃	川崎千之	●		●				●				血液疾患	
	〃	野口誠司			●				●		●		肝臓・胆嚢・膵臓疾患・消化器疾患	
	〃	松見里美	●				●				●		消化器疾患	
	〃	藤澤伸光	●				●				●		呼吸器疾患	
	医員	大塚容子	●						●		●		腎臓疾患	
	〃	村上謹士郎			●				●		●		循環器疾患	
	〃	石橋貞利	●		●				●				消化器疾患	
	〃	久間文明			●		●		●				循環器疾患	
	〃	原口総一郎			●		●						腎臓疾患	
	〃	松永圭司	●								●		消化器疾患	
〃	堀内康啓			●				●				呼吸器疾患(平成16年5月16日より勤務)		
	糖尿病教室				●		●		●		●		※詳細は内科外来へお尋ね下さい。	
小児科	部長	岡尚記	●		●						●		小児一般	
	医長	深堀一成	●				●		●				アレルギー疾患	
	医員	原美智子					●				●		気管支喘息	
	〃	徳富友紀			●				●					
		乳児検診				●								火曜PM1:00~
		慢性外来・神経外来 喘息外来						●				●		水曜PM2:00~※神経外来は第2水曜日のみ(要予約) 火曜PM2:00~
外科	外科顧問	松永章							●				内視鏡下外科	
	部長	江里口直文(●)					●				●		※月曜は新患のみ受付	
	医長	松尾敏弘	●				●						呼吸器外科・乳腺外科	
	医員	朽網留美子			●				●				一般外科・消化器外科	
	〃	川畑方博			●						●		一般外科・腹部エコー	
	〃	原田洋			●						●		一般外科・消化器外科	
	〃	木村祐介ノーマン							●				一般外科・消化器外科	
〃	木嶋潤也	●										一般外科・消化器外科		
〃	庄嶋賢弘	●				●						一般外科		
脳神経外科	院長	福井仁士	●				●						脳腫瘍、脳血管障害、頭部外傷、脊椎外科	
	診療部長	山川勇造							●		●		小児の神経外科、顔面痙攣	
神経内科	医長	濱田康宏	●						●				三叉神経痛の外科手術	
	医員	黒川智美									●		神経内科疾患一般	
整形外科	部長	萩原博嗣	●				●				●		骨関節疾患全般	
	医長	久我尚之			●		●		●				・股・膝関節の関節形成術、人工関節置換術	
	医員	寺本全男	●						●		●		・膝・肩・手・肘の鏡視下手術	
	〃	井手康人	●		●						●		・脊椎外科、腰部疾患手術	
	〃	宿利知雄			●				●		●		・肩・手の外科(断肢再接着手術を含む)	
	〃	寺原幹雄	●				●						・リウマチ、スポーツ整形外科、足の外科など	
皮膚科	医長	平島徳幸	●	●	●		●		●	●	●		・湿疹、虫刺症、アレルギー性皮膚炎	
	医員	小楠優子	●	●	●		●		●	●	●		・皮膚感染症・爪疾患、毛疾患 ・皮膚小手術(粉瘤、陥入爪など)(火・水・金)	
泌尿器科	部長	山田潤	●				●				●		尿路結石、尿路腫瘍、前立腺疾患	
	医長	森光浩	●						●		●		体外衝撃波結石破碎術(ESWL)	
	医員	今里祐之			●		●						尿失禁、尿路感染	
	〃	松尾朋博			●				●					
産婦人科	副院長	木寺義郎	●				●				●		産科・周産期医療	
	医長	鶴地伸宏	●		●		●		●				不妊症・内分泌疾患	
	医員	大塚未砂子	●		●		●		●		●		体外受精・胚移植術、腹腔鏡下手術	
	〃	新谷可伸			●		●		●		●		更年期・婦人科疾患	
眼科	医長	小西健一	●		●		●	●	●		●		白内障手術、緑内障手術、硝子体手術	
	医員	中森玄司	●		●		●	●	●		●		網膜剥離手術、翼状片手術、レーザー光凝固術など ※水曜の午後は術前検査と特殊再来(要連絡)	
耳鼻咽喉科	医長	後藤弘毅	●		●		●		●	●			アレルギー性鼻炎のレーザー治療	
	医員	井口貴史	●	●	●		●		●		●		小児の耳鼻咽喉科疾患 耳・鼻・咽喉頭・甲状腺などの手術	
放射線科	医長	野々下政昭	●						●				MRI、CT、RI、血管造影、超音波検査	
	医員	有川俊二									●		消化管造影、内視鏡検査	
	〃	末藤伸子							●				内視鏡下手術(ポリープ切除)	
麻酔科	医長	吉田成吾			●									
	医員	深野拓	●		●		●		●		●		※月~金午前ペイン外来 ※月~金午後は手術麻酔	
歯科 口腔外科	医長	吉村真紀	●		●		●		●		●			
	医長	平木昭光	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	歯科・口腔外科 ※紹介患者のみ新患受付	